

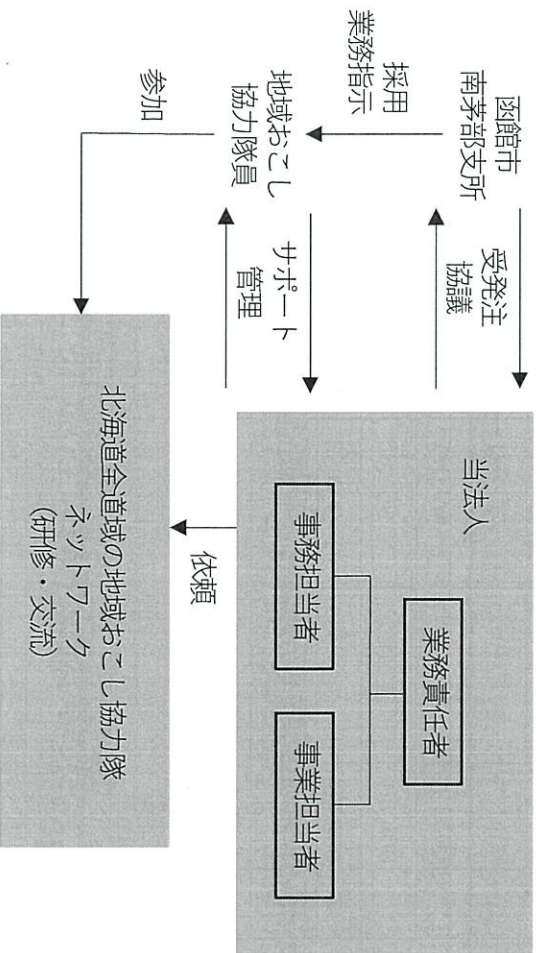
南茅部地域世界遺産活用支援事業 企画提案書

実施方針

北海道全道域での地域おこし協力隊ネットワークづくりと研修プログラム展開

地域おこし協力隊の活動展開と定住には、隊員各々の強みと弱みを把握したサポートと受入を行う地域からの日常的なサポートが必要である。本事業では、北海道全道域での地域おこし協力隊ネットワークを持つ団体の研修会への参加機会提供を行うつつ、函館市役所南茅部支所をはじめとする地域の関係各所からサポートを受けることのできる体制を構築し、多方面から協力隊員のサポートを実施する。研修会では、協力隊員各々の目標設定、目標に対する定期的な振り返りを実施しており、各々の活動に対するフォローアップが期待できる。また、当法人では、地域おこし協力隊に関連する事業を含み、北海道内の各地域でニーズに合わせた地域づくりや地域団体の活動プログラムの展開している。そのノウハウやネットワークを応用しながら、地域おこし協力隊員と地域のニーズとの擦り合わせを行い、定住に向けたサポートを実施する。

サポート方法



※北海道全道域の地域おこし協力隊ネットワークについて
研修会では、先進事例の共有、ゲスト講師の講演などその他、協力隊員各々の目標設定、目標に対する定期的な振り返りを実施しており、各々の活動に対するフォローアップが期待できる。

サポート実施方法

週報のとりまとめ

地域おこし協力隊員が作成する週報を月毎に取りまとめて函館市へ提出する。必要があれば随時、相談を受けて、活動方針などについて協議する。

オンライン、対面での面談

地域おこし協力隊員に対して、業務進捗や生活の中での困りごとなどを確認し、活動方針について相談する面談を実施する。

【実施頻度】

・オンライン：2か月に1度(1時間程度)

【出席者】

- ・地域おこし協力隊員・当法人(業務責任者・事業担当者)
- ・函館市南茅部支所担当者(必要に応じて)

地域おこし協力隊研修への参加機会提供

全道各地の地域おこし協力隊のフォローアップを実施する団体による研修会への参加機会を提供する。